



Japan Foundation for  
Regional Art-Activities

# 地域創造レター

1月号—No.297

2020.1.1

(毎月1回25日発行)

News Letter to Arts Crew

【柘榴色(ざくろいろ)】柘榴の果実のような深い赤色。

柘榴は平安時代に中国から渡来。丸い実の中に赤く透明感のある種皮に包まれた種がぎっしり詰まっていることから、子孫繁栄のシンボルになっている。インパクトのある見た目からか、エピソードも多く、ギリシャ神話では黄泉の国の食べ物、日本では鬼子母神の食べ物らしい。

## ●目次 / contents

地域創造理事長 新年のご挨拶.....2

今月のニュース.....4

第20回「地域伝統芸能まつり」のご案内  
令和元(2019)年度「地域創造大賞(総務大臣賞)」受賞施設の決定

財団からのお知らせ.....7

令和元(2019)年度「公共ホール邦楽活性化モデル事業」スタート/平成30(2018)・令和元(2019)年度「公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業」秋田セッション報告/令和2(2020)年度地域創造事業実施時期の変更について/雑誌『地域創造』第45号発行/令和2(2020)年度「リージョナルシアター事業」研修会報告

今月の情報.....10

地域通信/アーツセンター情報

今月のレポート.....16

千葉県松戸市 「科学と芸術の丘2019」

# あけましておめでとうございます

令和2(2020)年1月1日  
一般財団法人地域創造

地域の皆様とともに  
創造性豊かな地域づくりを目指してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 2020年1月～3月 地域創造事業スケジュール

当財団では年度末まで、全国各地でさまざまな事業を展開しております。

### 1月

- 公立美術館共同巡回展開催助成事業(単年度)  
「ニューヨーク・アートシーネーロスコ、ウォーホルから草間彌生、バスキアまで一滋賀県立近代美術館コレクションを中心に」展(埼玉県さいたま市・埼玉県立近代美術館)/～1月19日
- 令和元年度地域創造大賞(総務大臣賞)表彰式(東京都・グランドアーク半蔵門)/1月17日
- 公共ホール音楽活性化事業  
静岡県御殿場市(御殿場市民会館)/1月20日～22日  
千葉県酒々井町(プリミエール酒々井)/1月23日～25日
- 公共ホール現代ダンス活性化事業  
高知県土佐清水市Aプログラム(土佐清水市立市民文化会館くろしおホール)/1月21日～24日  
長野県上田市Cプログラム(サントミュージゼ 上田市交流文化芸術センター)/1月30日～2月2日  
兵庫県豊岡市Cプログラム(豊岡市民プラザ)/1月31日～2月3日
- リージョナルシアター事業  
愛媛県松山市(松山市総合コミュニティセンター)/1月27日～30日

### 2月

- 公共ホール音楽活性化事業  
東京都羽村市(羽村市生涯学習センターゆとろぎ)/2月6日～8日  
福岡県久留米市(久留米市城島総合文化センター インガットホール)/2月4日～8日(発展継続)
- ステージラボいわきセッション(いわき芸術文化交流館アリオス)/2月18日～21日
- 第20回地域伝統芸能まつり(東京都・NHKホール)/2月23日
- 公共ホール現代ダンス活性化事業  
徳島県Cプログラム(あわぎんホール(徳島県郷土文化会館))/2月26日～29日

### 3月

- 公共ホール現代ダンス活性化事業  
愛知県小牧市Cプログラム(小牧市市民会館)/3月4日～7日  
福岡県宗像市Cプログラム(宗像ユリックス)/3月19日～22日
- 公共ホール邦楽活性化モデル事業  
岩手県釜石市(釜石市民ホール TETTO)/3月5日～7日

## ～新年のご挨拶～

一般財団法人地域創造理事長 板倉敏和

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

当財団の事業にご理解・ご協力をいただき、関係者の皆様には心から御礼申し上げます。

昨今、地震や水害等大規模災害が多発しています。特に、昨年は台風による風水害により、各地で甚大な災害が発生しました。被害にあわれた方、そして今でも避難生活を余儀なくされている方にお見舞いを申し上げますとともに、復興にむけて尽力されている皆様に心から敬意を表します。

地域創造は、「文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくり」の支援を目的に、1994年の設立以来、地方公共団体や公立文化施設等の皆様との緊密な連携の下、地域における文化・芸術活動を担う人材の育成のための研修交流事業、公立文化施設の活性化支援事業、地域の文化・芸術の環境づくりに役立つ情報発信・調査研究事業、地域伝統芸能の保存・継承の支援事業を実施し、昨年9月に設立25周年を迎えました。長年にわたり皆様にご理解・ご協力をいただいたことに対しまして、心から感謝申し上げます。

昨年の「地域創造レター」10月号に地域創造のあゆみを掲載させていただきました。これまでの事業の実績をみてみますと、人材の育成のための研修交流事業「ステージラボ」の受講生は3,190人を数え、その多くが各施設の中核となって活躍されています。また、公立文化施設の活性化支援事業のうち、良質なクラシック音楽とともに自主事業の企画ノウハウを地域に届ける「おんかつ」は延べ370団体、また、同様の枠組みでコンテンポラリーダンスにふれる機会を提供する「ダン活」は延べ136団体へそれぞれアーティスト、コーディネーターの派遣を行いました。これらの事業により培われたアウトリーチの手法は今や全国に広く普及しています。地方公共団体等が主体的に取り組む地域の文化芸術活動に対する助成も5,000件近くに達しました。

本年夏には、文化の祭典でもある東京オリンピック・パラリンピック競技大会がいよいよ開催されます。また、2025年には大阪万博の開催が予定されるなど、地域の文化・芸術を巡る環境も大きく変化していくものと考えます。

少子高齢化の進展や、これに伴う財政逼迫などの厳しい環境もありますが、同時に、文化芸術基本法に示されたとおり、文化・芸術に対する社会的な期待は高まってきています。地域創造では、これまで皆様と共に取り組んでまいりました人づくりを更に推進し、公立文化施設相互のネットワークも生かしながら、地方公共団体や公立文化施設等の皆様方のニーズを汲み取り、地方が自ら考えていく元気で創造性豊かな地域づくりを支援してまいります。

引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

2020年1月

●「地域伝統芸能まつり」

# 20回目のテーマは「競う～互いに競い、自分を磨く。～」

第20回  
地域伝統芸能まつり



平成30(2018)年度 第19回地域伝統芸能まつり フィナーレの様子

地域創造では、地域の重要な資源である地域伝統芸能の保存・継承・活用を支援しています。なかでも、日本各地域の伝統芸能と古典芸能がNHKホールに一堂に会し、個性豊かなさまざまな芸能が歴史的・地域的な解説とともに披露される「地域伝統芸能まつり」は、日本の芸能のすばらしさや地域の伝統の重みを再認識する機会として高く評価されています。

平成12(2000)年度から毎年開催されてきたこのまつりでは、これまで、全国47都道府県から190演目が披露されました。20回目となる今年のテーマは、「競う～互いに競い、自分を磨く。～」。

テーマに沿った、日本各地域の伝統芸能8演目と古典芸能1演目をご紹介します。

◎出演予定の地域伝統芸能・古典芸能(出演順予定)

行祭事名または演目	地域または出演者	都道府県単位での出演回数
一人角力	今治市(愛媛県)	6回目(4年ぶり)
秋田竿燈まつり	秋田市(秋田県)	9回目(2年連続)
座喜味棒術	読谷村(沖縄県)	8回目(3年ぶり)
江戸火消しの梯子乗り	東京都	6回目(3年ぶり)
三島囃子	三島市(静岡県)	4回目(7年ぶり)
能「舍利」観世流(短縮版)	坂井音重ほか	—
下水流臼太鼓踊	西都市(宮崎県)	6回目(6年ぶり)
高田神社横野獅子舞	津山市(岡山県)	3回目(10年ぶり)
阿波おどり	徳島市(徳島県)	3回目(6年ぶり)

【日時】2020年2月23日(日)  
午後2時30分開演(午後1時30分開場)  
【会場】NHKホール(東京都渋谷区神南2-2-1)  
【入場】無料(事前申込制)  
【主催】地域伝統芸能まつり実行委員会  
一般財団法人地域創造  
【後援】総務省、文化庁、観光庁、NHK  
【協力】日通旅行株式会社

◎応募方法

2020年1月31日(金)必着

※応募多数の場合は抽選。発表は本人に直接通知します。

1. インターネット(パソコン、携帯電話等)募集サイトからご応募ください。

<http://www.nhk-p.co.jp/matsuri/>

2. はがき  
往復はがきに①～⑦を明記の上、下記事務局までお送りください。

- ①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年代 ⑤性別
- ⑥電話番号 ⑦入場希望者数(はがき1枚につき2名まで)

【応募先】

〒150-0047 東京都渋谷区神山町5-5 NRビル5F  
「地域伝統芸能まつり」観覧応募事務局

※ご応募いただいた個人情報は、本事業の抽選、当・落選告知および個人を特定しない統計資料の作成の目的で使用します。また、事前の承諾なく個人情報を業務委託先以外の第三者に開示・漏洩しません。

◎お問い合わせ ハローダイヤル  
Tel. 03-5777-8600(全日8:00～22:00)

●「地域伝統芸能まつり」に関する問い合わせ  
総務部 宮下  
Tel. 03-5573-4056

## ▼— 今月のニュース

地域創造からのニュースを毎月掲載します

### ●第20回地域伝統芸能まつり プログラム紹介(予定)

\*演目は変更される場合もありますのでご了承ください。

#### あきたかんとつ 秋田竿燈まつり(秋田県秋田市)



江戸時代中期、お盆を前に邪気や病魔を払い、身を清める「ねぶり流し」と、五穀豊穡の願いを込め、提灯を米俵に竿燈全体を稲穂に見立てて練り歩いたことが由来とされています。現在は、8月3日～6日の4日間、竿燈大通りを会場に開催されています。各町内や、各種団体重さ約50キロの竿燈を手のひら、額、肩、腰などに乗せて「ドッコイショ」の掛け声とともに、次々に差し手による妙技が披露されます。また、笛と太鼓の旋律の囃子方で、華やかに竿燈演技を盛り上げます。今日では、各種団体・企業から280本を超える竿燈が出竿されて、その風情はまるで風にそよぐ黄金の稲穂のようです。

#### えどひけし はしごの 江戸火消しの梯子乗り(東京都)



消防出初式は、年明けの恒例行事として各地で行われています。今日では様々な消防演技が披露される中において、「綱振り」や「梯子乗り」、「木遣歌」は、江戸時代の町火消の心意気を今に伝えています。梯子乗りの起源は定かではありませんが、万治2(1659)年1月4日に、時の老中稲葉伊予守正則が、定火消総勢四隊を率いて上野東照宮前で顔見せの儀式「出初」を行い、氣勢を上げたことに由来すると伝えられています。現在、各自治体の消防出初式において演じられる梯子乗りは、消防職員や消防団員が行っていますが、東京消防出初式では、「江戸消防記念会」がその技を保存、伝承しています。

#### 能「舍利」観世流(短縮版) [出演]坂井音重ほか



撮影:前島吉裕

韋駄天が登場する能「舍利」をお楽しみいただけます。ご存じNHK大河ドラマのタイトルともなった「いだてん」とは、足の速い人のことを言いますが、本来は仏殿などを守護する足の速い神様のことです。その韋駄天がかつて仏舍利を奪って逃げた鬼を捕まえたとの伝説があります。旅の僧が都・泉涌寺舍利殿を訪れ、仏牙舍利塔(ぶつげしゃりとう)を拝んでいると、怪しい男が現れ、あっという間に舍利塔を奪い、舍利台を破壊、ものすごいスピードで虚空に逃げていきます。後半、韋駄天が現れ、犯人の足疾鬼を天上界、下界と追いかけて、舍利塔を取り戻します。舍利塔を盗み出した足疾鬼を追う韋駄天のスピード感のある舞台が展開します。

#### たかだじんじやよこのししまい 高田神社横野獅子舞(岡山県津山市)



高田神社の獅子舞は、伝承によると、和銅6(713)年に美作国府が開設されて以来、毎年9月9日に美作11社の神々が総社に神幸したときからこれに加わっていたといわれています。文化・文政期から明治期にかけては特に盛んで、人々に悪魔払いとして信仰を受けてきました。獅子舞の構成は、笛8人、太鼓4人、獅子の胴体には10ないし12人が一頭に入ります。この獅子舞には、古くから獅子頭と呼ばれる

指揮者がいて、獅子を使う技術と人物を見込んで氏子たちが選出した人が務めることになっています。現在では、毎年7月最後の日曜日の納涼祭と、10月第2日曜日の例大祭において奉納されています。

#### ひとりずもう 一人角力(愛媛県今治市)



毎年春の御田植祭と、秋の抜穂祭において、大日根神社で行われる相撲神事です。目に見えない稲の精霊と相撲を取るため一人角力といわれます。「稲の精霊」と「一力山」による三本勝負で行われ、稲の精霊が2勝1敗で勝つことで春には豊作が約束され、秋には収穫を感謝するという意味があります。その歴史は650年以上に遡るといわれ、一時は途絶えるも、地元の奉仕者の尽力により平成11年に復活を果たしました。愛媛県指定無形民俗文化財。

#### ざんみほうじやつ 座喜味棒術(沖縄県読谷村)



座喜味棒術は、約500年の歴史を持ち、座喜味城主護佐丸公の時代に遡るといわれています。棒術は自分達の身を守るだけでなく、集団で村の防衛を果たすものでもありました。沖縄各地には様々な棒術が伝わっていますが、「座喜味棒」は実戦型であることが特徴です。6尺棒と3尺棒を自在に操り、常に相手の急所を狙って攻める戦いは、緊迫感と様式美に溢れています。座喜味棒保存会は1975年に設立され、県内での演武はもとより、東京、ブラジル、ハワイ、韓国、台湾など県外国外でも技を披露してきました。現在は、後継者育成を目的に子ども会へ指導者を送り、継承発展に努めています。

#### みしまばやし 三島囃子(静岡県三島市)



三島囃子は、天文年間(1532～55年)の頃、三島明神の神領内の若者たちに伝えられた「お囃子」と、江戸時代に西と東の文化が混ざり独自に発展した「しゃぎり」の総称です。8月の「三嶋大祭り」では、当番町の山車引回しを中心に、大通りに10数台の山車が並ぶ「山車シャギリ大会」や、3日間「子供しゃぎり大会」が開催されたり、市内中に三島囃子の音色が響き渡ります。中でも「競り合い」は町内ごとの山車が対面したときなどに、競い合って行う勇壮な演奏で、この祭りのハイライト的な存在であり、三島の夏の風物詩ともなっています。

#### しもずろうすだいこどり 下水流臼太鼓踊(宮崎県西都市)



下水流臼太鼓踊は、西都市の下水流地区で伝承されてきました。九州南部各地で行なわれる臼太鼓踊のひとつで、臼形の大きな太鼓を打ちながら踊ります。毎年旧暦の8月1日、五穀豊穡・火難・水難除けを祈願して奉納します。その起源は、文禄・慶長の役(1592～98年)における、加藤清正軍に由来すると伝わっています。4組1対となり、縦陣・円陣など隊形を変化させながら「躍動的」に踊る当芸能は、南九州一とも賞される激しい動きが特徴です。1928(昭和3)年に全国舞踊大会で1位となると、同年のロンドン世界青年大会にも出演し、好評を博しました。近年では、北京オリンピック中国公演に出演するなど、宮崎県を代表する伝統芸能としても活動しています。

#### あわ おどり(徳島県徳島市)



阿波おどりは400年を超える歴史を持つといわれる、徳島が世界に誇る伝統芸能です。期間中は街中に軽快な音色(ぞめき囃子)と情感あふれる「よしこの」が響き、踊り子や見物客の身も心も弾みます。自由な民衆娯楽として大きく開花した阿波おどりは、東京・高円寺、埼玉・南越谷をはじめ全国各地に根付いたうえ、度々海外公演も開催されるなど、今や世界的にもその名を知られています。

## ●令和元(2019)年度「地域創造大賞(総務大臣賞)」発表

2019年12月、地域創造は、地域創造大賞(総務大臣賞)の受賞施設を決定しました。

これらの施設を設置した地方公共団体の皆さん、地域を豊かにするとの行政の目的に沿って施設を運営するために尽力されたスタッフの皆さん、施設を拠点としてさまざまな活動を行っている地域住民の皆さん、誠におめでとうございます。

地域創造では、受賞施設の活動を広く全国に紹介させていただくこと等を通じて、全国の公立文化施設のさらなる活性化が図られることを期待しています。

◎令和元(2019)年度地域創造大賞(総務大臣賞)表彰式

[日時]2020年1月17日(金) 14:00～ [会場]グランドアーク半蔵門

### 萬鉄五郎記念美術館

岩手県花巻市

#### “作家の顕彰”により地域に誇りと活力

旧東和町出身の日本近代絵画の先駆者である画家・萬鉄五郎を顕彰。町民運動によって誕生し、長年にわたり作家研究を行うとともに、岩手県初の公立美術館として県内作家の発掘や萬の前衛性を継ぐ若手美術家の紹介に尽力。商店街や地域住民と連携した「街かど美術館」「アート&クラフト・マーケット」にも取り組み、アートによる誇りと活力ある地域づくりに貢献した。



[運営]花巻市  
[開館]1984年

### 神奈川県立近代美術館

神奈川県

#### “展覧会の企画”により美術文化を振興

鎌倉の鶴岡八幡宮境内に誕生した日本初の公立近代美術館(旧鎌倉館)は2016年閉館。1984年に鎌倉別館、2003年に葉山館開館。第二次世界大戦後の再生を掲げ、研究にもとづく精力的な展覧会の企画により日本の近代美術作家を位置づけたパイオニア。講座、出張授業、ワークショップなど鑑賞教育に力を入れ、長年にわたり美術文化の振興と普及に貢献した。



[運営]神奈川県  
[開館]1951年

### 大阪府立江之子島文化芸術創造センター(enoco)

大阪府

#### “プラットフォームの形成”を牽引

大阪府工業奨励館附属工業会館(1938年築)を改修した小規模アートセンター。府所蔵の美術作品を公開する展覧会の他、府民がクリエイティブな発想を学ぶ「enocoの学校」やクリエイターが地域とともにさまざまな社会課題に取り組む「プラットフォーム形成支援事業」などを展開。行政、府民、クリエイターが協働するプラットフォームの形成に貢献した。



[運営]長谷エココミュニティ・E-DESIGNプラットフォームグループ [開館]2012年

### 宮古市民文化会館

岩手県宮古市

#### “ホール文化による地域再生”を推進

東日本大震災により被災し、大規模改修を経て2014年12月に再開。以来、市内の小・中・高校生を対象とした鑑賞事業、高校生の演劇創作事業、市民劇、子ども劇団とジュニア・アンサンブルの育成などを実施。また、豊かな郷土芸能の継承・発信を目指す「芸能Re;Connect」に取り組むなど、ホール文化による地域再生を推進した。



[運営]特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター  
[開館]1976年

### 塩竈市杉村惇美術館

宮城県塩竈市

#### “まちの文化広場”として地域に活力

塩竈市公民館本町分室(昭和25年築)を改修した美術館兼公民館。塩竈ゆかりの洋画家・杉村惇のコレクションを常設展示する他、若手アーティストの支援や多彩な子どもの美術体験プログラムを実施。地域住民の思い出の場所として街の記憶を掘り起こすユニークな企画を展開するなど、暮らしの中にある美術館として活力ある地域づくりに貢献した。



[運営]仙台湾燻蒸株式会社  
[開館]2014年

### 上田市交流文化芸術センター

長野県上田市

#### “レジデント・アーティスト”により文化力を向上

「文化の薫る創造都市」を標榜する上田市のシンボル施設(上田市立美術館併設)。レジデント・アーティストによる「芸術家ふれあい事業」を展開。音楽家を全小学校・全地区公民館に派遣する他、ワンコイン・コンサート、リサイタル、演出家や振付家によるワークショップ、高校生演劇事業、市民参加ダンス・演劇公演などを実施。アーティストとの交流により文化のまちづくりを牽引した。



[運営]上田市 [開館]2014年

### アルカスSASEBO

長崎県および佐世保市

#### “クラシック音楽の普及”により地域に活力

長崎県北部の文化芸術拠点として長崎県と佐世保市が整備。鑑賞事業、アウトリーチ、ロビーコンサート、ジュニアオーケストラを含めた3つのレジデント楽団を立ち上げるなど、クラシック音楽を中心に事業を展開。また、市民演奏団体約100組が出演する「アルカス九十九島音楽祭」など、音楽を通じた交流により活力ある地域づくりに貢献した。



[運営]公益財団法人佐世保地域文化事業財団  
[開館]2001年

## ▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

## 財団からのお知らせ

### ●令和元(2019)年度公共ホール邦楽活性化モデル事業

- ◎参加団体(主会場/派遣演奏家/日程)
- 公益財団法人東松山文化まちづくり公社(東松山市民文化センター/簗田弘大(作曲/三味線)、都築かとれ(三味線)、新保有生(篠笛・能管)/2019年11月6日、7日、17日)
- 釜石まちづくり株式会社(釜石市民ホールTETTO/岡村慎太郎(箏曲)、山形光(箏曲)、黒田鈴尊(尺八)/3月5日~7日)
- ◎問い合わせ  
芸術環境部 佐藤  
Tel. 03-5573-4064



コンサートでの簗田弘大さんと華道のコラボレーション(東松山市民文化センター)

### ●令和元(2019)年度「公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業」秋田セッション

- ◎実施団体(主会場/アーティスト/日程)
- 秋田県大館市(ほくしか鹿鳴ホール(大館市民文化会館)/NOK Saxophone Quartet/2019年9月25日~28日)
- 秋田県能代市(能代市文化会館/メルヴィル弦楽四重奏団/9月25日~28日)
- 秋田県羽後町(羽後町文化交流施設 美里音/メルヴィル弦楽四重奏団/10月30日~11月2日)
- 秋田県横手市(横手市ふれあいセンターかまくら館/NOK Saxophone Quartet/11月20日~23日)
- ◎ガラコンサート  
[会場]アトリオン音楽ホール(秋田市)  
[日程]11月30日
- ◎問い合わせ  
芸術環境部 渡辺  
Tel. 03-5573-4185

### ●令和元(2019)年度「公共ホール邦楽活性化モデル事業」がスタート

今年度より新たに始動した当事業は、市町村ホール等と地域創造が共催し、地域において邦楽の魅力にふれていただくため、地域創造が派遣する演奏家による地域交流プログラムやホールコンサートを実施します。今年度の開催地は埼玉県東松山市と岩手県釜石市。5月の全体研修会を経て、各実施団体の担当者と演奏家およびコーディネーターがアイデアを出しあいながら企画の検討を重ねてきました。

第1弾として2019年11月に実施された東松山市では、簗田弘大さん(作曲/三味線)、都築かとれさん(三味線)、新保有生さん(篠笛・能管)が出演、それぞれの楽器の持ち味や歌舞伎音楽の世界を身近に感じられるプログラムでアウトリーチに臨みました。実施団体の東松山文化まちづくり公社は、今回の事業を通して地元地域とホールの繋がりをさらに広げたいとの思いから、東松山市茶華道連盟、地元の名所として知られる箭弓稲荷神社、そして東松山市立松山第一小学校をアウトリーチ対象に選定。なかでも箭弓稲荷神社は歴史的に歌舞伎との縁も深く、参加した地元関係者は趣のある社の幣殿で『勸進帳』の一節に聞き入りました。

また、上記茶華道連盟へのアウトリーチ終了後に演奏家が茶道・華道を体験する時間も設けられ、お互いの交流を深めました。その交流から東松山市民文化センターで行われたホールコンサート「いざ歌舞伎音楽の世界へ〜江戸長唄から現代へ〜」の中で、簗田さんの演奏と華道とのコラボレーションも実現。歌舞伎音楽の「いろは」から現代曲まで、三味線と笛の魅力を堪能できる充実した公演となりました。

第2弾は2020年3月に釜石市で行われ、岡村慎太郎さん(箏曲)、山形光さん(箏曲)、黒田鈴尊さん(尺八)が出演します。



東松山市での邦楽アウトリーチ(箭弓稲荷神社)

### ●平成30(2018)・令和元(2019)年度「公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業」秋田セッション報告

秋田県との共催で2カ年度実施してきた当事業。今年度は、メルヴィル弦楽四重奏団とNOK Saxophone Quartetが、県内4市町で小学校等へのアウトリーチとホールコンサートを行いました。

そして事業の集大成として、2019年11月30日にガラコンサートをアトリオン音楽ホールで開催。アウトリーチで使用した曲を中心に演奏が行われ、曲間では訪問した小学校での思い出が語られました。アンコールには2組のアーティストが合同演奏を披露。メルヴィル弦楽四重奏団の小林幸太郎さん(チェロ)が編曲した『ボレロ』など3曲が演奏されると、客席からは大きな拍手が送られました。

現在、秋田県と秋田市は、2021年度の開館を目指して県・市連携文化施設を共同で整備しています。今回の事業は新施設の開館後も見据えた市町村との人脈づくりや人材育成を目的として実施されました。秋田県文化振興課の佐藤亜希子さんは、「市町村公演に参加したホールにとって良いネットワーク構築ができたと思う。一過性で終わらせることなく、県としてもこのような取り組みを続けていきたい」と力強く語りました。

参加した市町からは「アウトリーチに不慣れで段取りに手間取った」「ホールコンサートの集客に苦慮した」と課題や反省も出ましたが、今回の経験を生かし来年度の「公共ホール音楽活性化事業」の実施希望も出ており、今後の秋田県内でのさらなる連携の可能性と展開が期待できるものとなりました。

来年度の開催地は長野県です。(一財)長野県文化振興事業団との共催で、県内市町村公演(伊那市、飯山市、茅野市、安曇野市、筑北村、松川村を予定)や、キッセイ文化ホール(松本市)でのガラコンサートを行います。



アトリオン音楽ホールでのガラコンサート

## 財団からのお知らせ

### ●令和2(2020)年度地域創造事業実施時期の変更について

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴い、東京都内における交通機関の混雑および宿泊施設の不足が予想されます。地域創造では、例年夏時期に開催している「地域創造フェスティバル」等の事業について、下記のとおり開催時期と内容を変更して実施する予定です。また、通常年2回開催している「ステージラボ」については後期セッションのみ開催予定です。各事業の詳細は決まり次第、地域創造レターや当財団ウェブサイトにてご案内いたします。

事業名	開催日・開催会場(予定)
・おんかつ支援登録アーティストプレゼンテーション ※例年「地域創造フェスティバル」として開催	5月25日、26日/東京都内(会場未定)
・ダン活登録アーティストプレゼンテーション ※例年「地域創造フェスティバル」として開催	10月6日/横浜赤レンガ倉庫1号館(横浜市) ※令和3(2021)年度ダン活実施団体向け研修会は10月5日～7日
・都道府県・政令指定都市文化行政担当課長会議 ※例年「地域創造フェスティバル」と同時開催	5月25日/東京都内(会場未定) ※おんかつ支援登録アーティストプレゼンテーションと同時開催
・ステージラボ ※例年前期・後期の2回開催	2021年2月16日～19日/iichiko総合文化センター(大分県大分市) ※後期セッションのみ開催

### ●雑誌「地域創造」第45号を発行しました



芸術文化を通じた地域づくりの事例を紹介する雑誌「地域創造」第45号を2019年12月25日に発行しました。今回の特集は、リニューアルを契機として美術館に求められる役割を再考した4つの館を紹介する「美術館リニューアル」と、地域の公立文化施設として、社会や地域と向き合う事業を行っている4つの館を紹介する「パブリック・プログラムを考える」の2本立てです。このほか、芸術文化を活用した学校づくりを推進している平田オリザ氏と大南信也氏の対談に加え、海外の事例として、台湾の台中国家歌劇院の取り組みや、アメリカのニューヨーク近代美術館のリニューアルを取り上げるなど、多彩な事例を紹介します。

#### ◎特集1「美術館リニューアル」

- 岐阜県美術館(岐阜県岐阜市)
- 東京都現代美術館(東京都江東区)
- 福岡市美術館(福岡県福岡市)
- 京都市京セラ美術館(京都市美術館)(京都府京都市)

#### ◎特集2「パブリック・プログラムを考える」

- ハッピーネス・ヒル・幸田(幸田町民会館)(愛知県

幸田町)

- 三重県文化会館(三重県津市)
- 東山青少年活動センター(京都府京都市)
- 塩竈市杉村悳美術館(宮城県塩竈市)

#### ◎空間のエスプリ

— 国際的事例のビジュアルレポート

- 台湾のクリエイティブ産業の新拠点 伊東豊雄設計の台中国家歌劇院

#### ◎体験レッスン

— 公立文化施設職員・文化政策担当者へのノウハウ伝授

- 写真による町のブランディング“東川スタイル”を学ぶ(北海道東川町)

#### ◎イラストSCOPE

— 邦楽・伝統芸能・古典芸能・祭りの伝承の取り組み

- 由緒ある破風のもとで育つ「豆役者」たちまるおか子供歌舞伎(福井県坂井市)

#### ◎座談会

- 地域づくりとしての教育(平田オリザ×大南信也)

#### ◎海外STUDY

— 海外の文化政策・制度紹介

- 21世紀の新しいビジョンを示すリニューアル MoMA(ニューヨーク近代美術館)

#### ◎BOOK

松本茂章編著『岐路に立つ指定管理者制度—変容するパートナーシップ』

#### ●令和2(2020)年度地域創造事業に関するお問い合わせ

##### ◎おんかつ支援登録アーティストプレゼンテーション

芸術環境部 渡辺

Tel. 03-5573-4185

##### ◎ダン活登録アーティストプレゼンテーション

芸術環境部 栗林・川口

Tel. 03-5573-4055

##### ◎都道府県・政令指定都市文化行政担当課長会議

総務部 内山

Tel. 03-5573-4173

##### ◎ステージラボ

芸術環境部 三田

Tel. 03-5573-4066

#### ●雑誌「地域創造」に関する問い合わせ

芸術環境部 青井

Tel. 03-5573-4093

●令和2(2020)年度「リージョナルシアター事業」研修会報告

令和2年度リージョナルシアター事業の実施予定団体と派遣アーティストが集まり、ワークショップやディスカッション、打ち合わせを行う研修会が、2019年11月11日(月)・12日(火)の2日間にわたって当財団事務所にて開催されました。今回は、来年度実施予定の5団体(北海道大空町、福島県いわき市、埼玉県宮代町、大阪府枚方市、福岡県久留米市)から10人の事業担当者が参加し、交流を深めるとともに当事業の趣旨や可能性を共有する2日間となりました。

地域の課題やホールの展望などを踏まえながら、住民等を対象にしたワークショップや学校へのアウトリーチを行う当事業では、派遣アーティストと実施団体が協働しながらプログラムをつくり実施していきます。今回の研修では、地域・ホールのやりたいことや抱える問題意識、また演劇的手法を使ったワークショップの効果や可能性などを、事業担当者と派遣アーティストで共有するための対話がさまざまな場面で行われました。

初日はまず、アドバイザーの岩崎正裕さんによるワークショップとレクチャーが行われました。ワークショップ開始直後は初対面の人が多く遠慮がちな雰囲気だったが、岩崎さんの進行で「拍手まわし」などのシアターゲームをするうち、徐々に参加者にも笑顔が。その後、

2人1組で相手のことを紹介する「他己紹介」に取り組み、最後には“漫才風”にして全員の前で発表。ユーモア溢れる漫才に爆笑が起っていました。岩崎さんからは「演劇ワークショップは広場づくり。家でも職場でもない第三の場所＝“広場”を街に再生し、新しい人たちと出会う場をつくるのが公共ホールに求められていることではないでしょうか。そしてそれが地域の活力になると思っています」との言葉がありました。

続いて「事例紹介」として、派遣アーティスト5名とアドバイザー2名に、ワークショップ事例やこれまでの成果や苦勞、事業担当者の役割や心構えについてお話しいただきました。プログラムの自由度が高い演劇ワークショップならではの楽しさや難しさ、また継続することの重要性にも話が及び、参加者たちは自らの地域やホールに照らし合わせながら考えを巡らせることになりました。

2日目は前日のオリエンテーションを踏まえて、派遣アーティストと実施予定団体による企画打ち合わせが行われました。それぞれのミッションや課題を元に、その地域ならではのプログラム実現に向けて熱心な話し合いがグループごとで行われ、最後には打ち合わせ内容を発表しあい、2日間の研修を締めくくりました。実施予定団体の来年度の企画実施にご期待ください。



1.岩崎正裕さんによるワークショップとレクチャー/2.事例紹介/3.派遣アーティストとの企画打ち合わせ/4.打ち合わせ内容の発表

●令和2(2020)年度「リージョナルシアター事業」

○派遣アーティスト

●多田淳之介(東京デスロック主宰、演出家)

●田上豊(田上パル主宰、劇作家・演出家)

●有門正太郎(有門正太郎プレゼンツ主宰、演出家・俳優)

●福田修志(F's Company代表、劇作家・演出家)

●ごまのはえ(ニットキャップシアター代表、劇作家・演出家・俳優)

○アドバイザー

●内藤裕敬(南河内万歳一座座長、劇作家・演出家)

●岩崎正裕(劇団太陽族代表、劇作家・演出家)

○実施予定団体

●北海道大空町

●福島県いわき市(いわき芸術文化交流館アリオス)

●埼玉県宮代町(宮代町立コミュニティセンター進修館)

●大阪府枚方市

●福岡県久留米市(久留米シティプラザ)

○問い合わせ

芸術環境部 藤原・山本・勝田

Tel. 03-5573-4124

## 地域通信

### ●データの見方

情報は地域ブロック別に、開催地の北から順に掲載してあります。●で表示してあるのは開催地です。📍マークが付いている事業は地域創造の助成事業です。ラインの下は、事業運営主体、住所、電話番号、担当者名の順に記載してあります。色帯部分が事業名で、以下、内容を紹介しています。

### ●地域ブロック

[北海道・東北]北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島  
[関東]茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川  
[北陸・中部]新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知  
[近畿]三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山  
[中国・四国]鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知  
[九州・沖縄]福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

### ●情報提供先

ファックス、電話、e-mailをお願いします。  
Fax. 03-5573-4060 Tel. 03-5573-4183  
letter@jafra.or.jp  
地域創造情報担当 児島・三田

### ●2020年3月号情報締切 1月30日(木)

### ●2020年3月号掲載対象情報

2020年3月～5月に開催もしくは募集されるもの

### 地域創造ウェブサイト「人材ネットバンク」 掲載情報募集

当財団ウェブサイト内に以下の情報を掲載するページを設けています。

○公共ホール等の求人情報

○公共ホール等で実施する人材育成研修の開催情報

掲載・申込方法など詳細はウェブサイトをご覧ください。 <http://www.jafra.or.jp/>

## 北海道・東北

### ●北海道小樽市

市立小樽美術館  
〒047-0031 小樽市色内1-9-5  
Tel. 0134-34-0035 星田七重  
<http://otarubij-kyoryoku.com/>

### 開館40周年記念特別展Ⅲ 小樽・美術家の現在シリーズ テーマ展「風土」

これまで小樽市ゆかりの現代美術家を取り上げてきた「小樽・美術家の現在シリーズ」が、開館40周年を機に小樽を中心に石狩湾を望む海岸線に沿って広く作家を選定し、共通テーマを設けた現代作家の群像展(グループ展)として再発足。今回は「風土」をテーマとし、現代美術家12名による小樽の自然や風景を表現した平面・立体作品が展示される。

[日程]2019年10月26日～1月12日  
[会場]市立小樽美術館

### ●北海道岩内町

木田金次郎美術館  
〒045-0003 岩内郡岩内町4代51-3  
Tel. 0135-63-2221 岡部卓  
<http://www.kidakinjiro.com/>

### 木田金次郎 アトリエ解体新書

2019年に開館25周年を迎えた木田金次郎美術館で、14年11月から続くアトリエ資料に注目したシリーズ企画の一環として開催される展覧会。木田のアトリエ資料の中でも油絵の具に着目し、分類整理を行った結果、興味深い内容を得られたことから、本展ではその分析結果を木田の作品とともに紹介し、彼の制作の内面に迫る。

[日程]2019年11月18日～3月29日  
[会場]木田金次郎美術館

### ●岩手県宮古市

特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター  
〒027-0023 宮古市磯鶏沖2-22

Tel. 0193-63-2511 大原愛  
<https://iwate-arts-miyako.jp/>

### ゼロからはじめる中高生のための演劇シリーズ「まちなか演劇合宿 in 3710」

宮古市の中学校・高校に演劇部がなかったことから、中・高校生を対象に昨年からはじまったプロジェクト。劇作家・演出家が市内に滞在し、「鑑賞」「体験」「創作」の一連のプログラムを行う。今年はブルーエゴナク主宰の穴迫信一を講師に迎え、市街地にあるゲストハウスで2泊3日の合宿を実施。まちなかを散策して演劇づくりに挑戦し、最終日には上演を行う。

[日程]1月8日～10日  
[会場]ゲストハウス3710



体を使ったコミュニケーションアウトリーチの様子

### ●仙台市

せんだいメディアテーク  
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1  
Tel. 022-713-4483 清水建人  
<http://smt.jp>

### 青野文昭 ものの、ねむり、越路山、こえ

“なおす”をテーマに、想像での復元や異なる種類のモノとモノを接合するなどの手法で作品制作を行う仙台市在住の美術作家・青野文昭の作品展。展覧会は作家の生誕地・仙台市八木山(かつては越路山と呼ばれた)がたどった記憶をモチーフに着想している。初期作品をはじめ、2011年の震災以降に着手した被災物を使用した作品、市民提供によるタンス数十十棹での最新作を展示する。

[日程]2019年11月2日～1月12日

[会場]せんだいメディアテーク

## 関東

### ●茨城県水戸市

水戸市芸術振興財団  
〒310-0063 水戸市五軒町1-6-8  
Tel. 029-227-8111 鴻巣俊博  
<http://www.arttowermito.or.jp/hall/>

### ゆったりお昼にクラシック トリオ・インク(ヴァイオリン、チェロ、ピアノ)～ベートーヴェン:人間、音楽家、伝説～

人気シリーズ「ちよっとお昼にクラシック」の拡大版コンサート。川崎洋介(ヴァイオリン)、ヴォルフラム・ケッセル(チェロ)、ヴァディム・セレブリャーニによるピアノ三重奏団「トリオ・インク」は音楽教育の発展にも力を注いでおり、演奏にベートーヴェンの生涯をナレーションで加えることで、より深く楽曲を楽しむことのできる公演となっている。一般公演の前には市内の公立中学校の1年生全員に鑑賞機会が与えられる。

[日程]1月24日  
[会場]水戸芸術館コンサートホールATM

### ●栃木県宇都宮市

栃木県立美術館  
〒320-0043 宇都宮市桜4-2-7  
Tel. 028-621-3566 木村理恵子  
<http://www.art.pref.tochigi.lg.jp/>

### 山田耕筰と美術

舞踊や演劇、そして美術にも大きな関心を抱き、美術家たちとも交遊のあった作曲家・山田耕筰と美術作品の関わりを、北原白秋と共に編集主幹を務めた雑誌『詩と音楽』のほか延べ約300点の絵画、版画、資料でたどる。会期中にはピアニスト・佐野隆哉によるギャラリートコンサートや、山田が音楽を担った映画の上映会も実施。

[日程]1月11日～3月22日  
[会場]栃木県立美術館

## ▼— 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

### ●埼玉県富士見市

キラリ財団  
〒354-0021 富士見市大字鶴馬  
1803-1  
Tel. 049-268-7788 都築彩  
<http://www.kirari-fujimi.com/>

#### キラリふじみ・ダンスカフェ スペシャルコラボレーション 『幻想曲』

キラリふじみ芸術監督・白神ももこの企画で2016年にスタートした気軽にダンスを楽しめるプログラム「キラリふじみ・ダンスカフェ」のスペシャルバージョン。きたまりや上村なおか、花上直人らダンスカフェでお馴染みのダンサーが出演。マルチホールを会場にダンスや美術、光、音など舞台芸術を創造する要素を形式にとらわれず自由な発想で活用し、ひとつの世界が構成される4つの公演を上演する。  
[日程] 1月18日、19日  
[会場] 富士見市民文化会館キラリふじみ

### ●千葉県市川市

市川市文化振興財団  
〒272-0025 市川市大和田1-1-5  
Tel. 047-379-5111 泉水佳菜子  
<https://www.tekona.net/>

#### 芸術講座「無伴奏チェロを聴く 〜バッハを中心に〜」

演奏を交えた座学講座で無伴奏チェロの魅力を紹介する。最古のチェロ作曲家のひとりであるガブリエッリ(17世紀後半)から、20世紀に「傑作」と再評価された『無伴奏チェロ組曲』を作曲したバッハ、20世紀以降の作曲家に至るまで幅広く取り上げる。講師の山澤慧(千葉交響楽団首席チェロ奏者)は市川市文化振興財団の新人演奏家コンクール(2008年)で優秀賞を受賞。  
[日程] 1月8日  
[会場] 市川市文化会館

### ●千葉県鎌ケ谷市

きらり鎌ケ谷市民会館  
〒273-0101 鎌ケ谷市富岡1-1-3  
ショッピングプラザ鎌ケ谷3F  
Tel. 047-441-3377 石毛衣美  
<https://www.kirari-kamagaya.jp>

#### きらりホールでお化け屋敷!? 東海道四谷怪談

先導役と共に観覧客がホール内にある各部屋を巡り、間近で演じられる『東海道四谷怪談』の世界を体感する、演劇鑑賞型のお化け屋敷。出演者は公募で集まった小学生から60歳代までの市民で、市内で活動する演出家

らによる指導のもと、9月から稽古を積み重ねる。小道具や衣装の製作はボランティアスタッフが、市民の力を結集した同館初の試みとなる。  
[日程] 1月19日  
[会場] きらり鎌ケ谷市民会館(きらりホール)

### ●東京都目黒区

東京都写真美術館  
〒153-0062 目黒区三田1-13-3  
恵比寿ガーデンプレイス内  
Tel. 03-3280-0099 武内厚子  
<https://topmuseum.jp/>

#### 至近距離の宇宙 日本の新進作家vol.16

将来性のある作家を発掘し、新しい創造活動を展開するシリーズ展。16回目の今年度、はるか遠い世界に行くのではなく、ごく身近な身の周りに深遠な宇宙を見出し作品を制作する6名の作家(相川勝、井上佐由紀、齋藤陽道、濱田祐史、藤安淳、八木良太)を紹介。歌人の穂村弘らゲストと作家の対談やギャラリートークなど関連イベントも多数。  
[日程] 2019年11月30日~1月26日  
[会場] 東京都写真美術館

### ●「TPAM - 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2020」開催のお知らせ

国内外の重要な劇場・フェスティバル・芸術文化団体から数百人の関係者が集い、公演や交流プログラムを通じて、舞台芸術の創造・普及・活性化のための情報を交換し、ネットワークを広げるプラットフォーム「TPAM(ティーパム) - 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2020」が2月に横浜市内各所で開催されます。

参加者自身がテーマを設定して10~110名のミーティングを主催できる交流プログラム「グループ・ミーティング」では、劇場やアーティスト団体、助成団体、公立文化機関の活動紹介だけでなく、関係者同士で共有したい課題など多様なテーマでミーティングが行われます(現在ホスト登録を受け付け中。締切: 1月13日)。また、ゲストを招いて舞台芸術と社会を繋ぐさまざまなトピックをテーマにしたシンポジウムやトークも実施されます。

公演プログラム「TPAMディレクション」では、日本、アジア、世界の舞台芸術の最新動向を反映し、共同制作やコラボレーション、地域コミュニティなどの問題に関わる11作品が上演されます。5年間にわたるアジア・フォーカスの締めくりとなる今回はダンスと身体表現に焦点を当て、インドネシア、タイとの国際共同制作(いずれも世界

初演)、身体障害そのものを表現力に転じる芸術を追求している劇団態変の最新作など、舞台芸術の「核心」にあえて立ち戻り、それを問い直すプログラムが展開されます。その他、新人から国際的に評価されるプロジェクトまで多様な公演が集まる公募プログラム「TPAMフリンジ」も開催。未だ見ぬ才能を発見するチャンスです。

参加登録はウェブサイト(<https://www.tpam.or.jp>)からお申し込みください。

#### ●TPAM - 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2020

[会期] 2月8日~16日  
[主会場] KAAAT 神奈川芸術劇場、Kosha33(神奈川県住宅供給公社)、横浜市開港記念会館、横浜ポートシアター、クリフサイド、関内新井ホール、横浜赤レンガ倉庫1号館、Amazon Club  
[主催] 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2020 実行委員会(国際交流基金アジアセンター、公益財団法人神奈川芸術文化財団、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、PARC - 国際舞台芸術交流センター)  
[助成] 公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー、損保ジャパン日本興亜[SOMPO アート・ファンド](企業メセナ協議会 2021 Arts Fund)、アジア・カルチュラル・カウンスル  
[後援] 外務省、文化庁、神奈川県、横浜市  
[提携事業] 横浜ダンスコレクション2020、舞台芸術制作者オープンネットワーク(ON-PAM)、アートサイトラウンジ vol. 25



左: エコ・スプリヤント(スラカルタ)『イブイブ・ペルー: 国境の身体』  
©Michael Tae  
右: 昨年のグループミーティングの様子  
撮影: 山田由季

## ●東京都青梅市

青梅市立美術館

〒198-0085 青梅市滝ノ上町  
1346-1

Tel. 0428-24-1195 大座孝子

<http://www.ome-tky.ed.jp/shakai/bijutsu/>

### アートビューイング西多摩2019 —ARTの地産地消—

西多摩にゆかりある作家30名の絵画・平面、立体作品を紹介する展覧会。併せてアーティスト交流事業により制作した小学生の作品を展示。ARTの消費とは「みる」「ふれる」「つくる」そして「考える」の4つの行動とし、西多摩の作家の作品を西多摩の住民が「消費」できるよう企画されている。会期中は、青梅産の材料などを使用したワークショップや、参加作家によるギャラリートークを実施。

[日程]2019年11月16日～1月13日

[会場]青梅市立美術館

## ●横浜市

横浜赤レンガ倉庫

〒231-0001 横浜市中区新港1-1

Tel. 045-211-1515 小原光洋

<http://akarenga-artrink.yafjp.org/>

### アートリンクin横浜赤レンガ倉庫 「SWEETS ICE RINK」

コンテンポラリーアートをより身近に感じ、体験できるよう、期間限定のスケートリンク全体をアーティストが演出する。15回目となる今シーズンは国際交流の意味も込め、タイの漫画家・アーティスト、ウィスット・ボンニットが空間を演出。雑誌ビッグイシュー日本版で10年以上にわたって連載中の人気4コマ漫画『ママアンちゃん』のキャラクターが冬の横浜をカラフルに彩る。

[日程]2019年11月30日～2月16日

[会場]横浜赤レンガ倉庫 イベント会場

## ●神奈川県鎌倉市

神奈川県立近代美術館

〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-8-1

Tel. 0467-22-5000 西澤晴美

<http://moma.pref.kanagawa.jp>

### 鎌倉別館リニューアル・オープン記念展 ふたたびの「近代」

神奈川県立近代美術館の鎌倉別館がリニューアル。2016年に閉館した旧鎌倉館の精神を受け継ぎ、鎌倉における新たな拠点として、多様なタイプの作品に対応するよう壁面の色を更新。本展では約1万5,000件の収蔵作品からコレクションの中核をなす日本の近代洋画を中心に、鑑賞者からもリクエストの多い岸田劉生、松本竣介などの名品54点を展示、音響インсталレーション作品のためのスペースも設けられている。

[日程]2019年10月12日～1月19日

[会場]神奈川県立近代美術館

鎌倉別館

## 北陸・中部

### ●新潟市

新潟市芸術文化振興財団

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2

Tel. 025-224-7000 鶴野喬子

<https://www.ryutopia.or.jp/>

### 60歳以上限定「笹部博司の演劇ワークショップ」発表公演 ～歌って踊る～「瞼の母」

高齢者の交流や、芸術創作活動の支援の一環とした60歳以上限定のワークショップの成果発表公演。前年実施したリーディングワークショップからステップアップし、舞台公演を前提に6カ月間の演劇ワークショップを実施。能楽堂で行われる公演は、人情芝居「瞼の母」に歌と踊りを織り交ぜたもので、市民参加ならではの気取らず楽しく観られる舞台を目指す。

[日程]1月18日、19日、25日

[会場]りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館

## ●富山県黒部市

黒部市国際文化センター

〒938-0031 黒部市三日市20

Tel. 0765-57-1201 新酒さおり

<http://www.colare.jp/>

### パフォーミングアーツのエンタランス Vol.4 十亀正司クラリネットコンサート

演奏を聴くだけでなく曲目の解説やエピソードなども学べ、初心者でも気軽に鑑賞できる舞台芸術の入門公演。4回目の今回は東京交響楽団前主席クラリネット奏者の十亀正司が登場。ユニークで楽しいさまざまな方法でクラリネットの魅力を紹介する。ほかにさまざまな木管楽器やバグパイプも演奏され、楽しみながら音楽の世界の魅力を学ぶことができる。

[日程]1月18日

[会場]黒部市国際文化センター コラール

## ●富山県南砺市

南砺市福野文化創造センター

〒939-1576 南砺市やかた100

Tel. 0763-22-1125 竹内奈津季

<http://nantohelios.jp/>

### ヘリオス収蔵品展シリーズ 「菅創吉と和紙アートを楽しむ 展覧会」

900点近い収蔵作品をさまざまな角度で紹介する定番のシリーズ展。今回は、同館収蔵作品の多くを占める菅創吉の作品の中から、和紙を画材にした作品を中心に展示するほか、五箇山和紙の里で開催されている「全国和紙ちぎり絵展」の歴代入賞作品が並ぶ。長い歴史をもつ南砺市五箇山の和紙産業にちなみ、和紙の多様な表現や可能性を紹介する。

[日程]1月17日～26日

[会場]南砺市福野文化創造センター アートスペース

## ●長野県長野市



長野市文化芸術振興財団

〒380-8512 長野市大字鶴賀  
緑町1613

Tel. 026-219-3100 長谷川綾

<https://www.nagano-arts.or.jp>

### 黒木岩寿の文化人類学講座 ～音楽と歴史の読み解き～ 第2講 ハイドン・モーツァルト・ ベートーヴェンの時代

文化人類学をテーマに、時代背景や当時の音楽家の生活を考えることで、音楽をより深く楽しむことができる講座。2回目の今回は、古典派音楽の時代を取り上げ、現代の価値観にも繋がる18～19世紀初めのヨーロッパを、講師であるコントラバス奏者の黒木岩寿と、ギタリスト岡本和也の演奏とともに巡る。後日開催のバロック・アンサンブル公演と関連づけし、集客を図る。

[日程]1月18日

[会場]長野市芸術館

## ●岐阜県多治見市

多治見市美濃焼ミュージアム

〒507-0801 多治見市東町1-9-27

Tel. 0572-23-1191 光枝美紀

<http://www.tajimi-bunka.or.jp/mino>

yaki\_museum/

### 企画展「宿場町のやきもの一中 山道の歴史をうつわでたどる」

東美濃の地域において、江戸時代後期から明治期にかけて宿場町で使用されていたやきものを紹介する企画展。旅人で賑わった茶屋の美濃焼、商家や旅籠に伝わる有田焼やヨーロッパ陶器など、49点の貴重な資料を公開。大名や皇女と宮へのおもてなしの様子や、幕末に活躍した新選組や長州奇兵隊の足跡など、激動の時代を生きた人々の営みを本展から見出すことができる。

[日程]2019年10月5日～2月2日

[会場]多治見市美濃焼ミュージアム

## ▼— 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

### ●愛知県豊田市

豊田市美術館

〒471-0034 豊田市小坂本町  
8-5-1

Tel. 0565-34-6610 千葉真智子  
<https://www.museum.toyota.aichi.jp/>

#### 岡崎乾二郎—視覚のカイソウ

造形作家・岡崎乾二郎による17年ぶりの大規模個展。1981年の初個展開催以来、岡崎は彫刻や絵画、建築等の制作にとどまらず、修景保存や教育活動、多分野の批評に至るまで、さまざまな活動を展開している。原点的作品『かただみのかたち』をはじめ、新作絵画・彫刻などを、ほぼ全館を使用して展示することで、岡崎の活動の全貌を紹介する。

[日程] 2019年11月23日～2月24日

[会場] 豊田市美術館

### ●愛知県碧南市

碧南市藤井達吉現代美術館

〒447-0847 碧南市音羽町1-1  
Tel. 0566-48-6602 北川智昭

<http://www.city.hekinan.lg.jp/museum/>

#### 野村佐紀子 写真展"GO WEST"

写真家・野村左紀子による公立美術館初となる展覧会。タイトルにあるように、写真に導かれて西へと旅するよう構成され、作家の故郷・山口をはじめ、ハルピンやインド、碧南で撮影された新作も合わせた約290点を展示する。本展をもって施設増築のため長期休館に入るため、休館前に多くの方々への鑑賞の機会となるよう特別に全期間観覧無料で実施する。

[日程] 2019年12月21日～2月24日

[会場] 碧南市藤井達吉現代美術館

### 近畿

### ●京都市

京都市音楽芸術文化振興財団

〒616-8065 京都市右京区太秦安井西裏町11-6

Tel. 075-822-3349 木下瑞

<https://www.kyoto-ongeibun.jp/ukyo/>

#### 未来へつなぐ伝統芸能 はじめての能 その2 初級編

敷居が高いと思われがちな能の魅力や紐解く講座。昨年1月に開催した「超入門講座」に続く第2弾。右京区内唯一の能舞台を構える観世流シテ方・杉浦豊彦らを講師に迎え、能の歴史や演目の解説、楽器の紹介や体験など、子どもから大人まで初めて能にふれる人に向けてわかりやすく楽しく解説。最後に囃子方を入れての舞囃子『経正』を鑑賞する。

[日程] 1月11日

[会場] 京都市右京ふれあい文化会館



はじめての能「超入門講座」の様子

### ●大阪府吹田市

吹田市文化会館メイシアター

〒564-0041 吹田市泉町2-29-1  
Tel. 06-6386-6333 宮本理絵

<http://www.maytheater.jp/>

#### 第177回吹田市民劇場

##### 『おきやく、おことわり?』

市民生活の向上を目的に、幅広いジャンルの中から優れた作品を低価格で提供する「吹田市民劇場」。今回は大阪の老舗人形劇団クラルテが、絵本『おきやく、おことわり?』を原作としたファミリー向け作品を上演。栈敷席をピクニックシート席と呼ぶなど、観客にわかりやすくワクワクする心遣いがなされている。

[日程] 1月26日

[会場] 千里市民センター

### ●大阪府河内長野市

河内長野市文化振興財団

〒586-0016 河内長野市西代町12-46

Tel. 0721-56-6100 野上友香

<https://lovelyhall.com/>

#### オクテットシリーズVol.1

##### フルート・アンサンブル

仕組みは同じでも大きさの異なる同属楽器を集めたユニークで好奇心をくすぐるコンサート。第1弾は吹奏楽でもおなじみのフルートを、関西屈指の名手8人がさまざまな編成で披露。オクテット仕様の編曲も出演者が務める。人より大きなフルートなど珍しい楽器が登場し、音色はもちろん、見た目にも楽しめる。2月はクラリネット・アンサンブルを予定。

[日程] 1月11日

[会場] ラブリーホール(河内長野市立文化会館)

### ●神戸市

神戸ファッション美術館

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2-9-1

Tel. 078-858-0050 中村圭美

<https://www.fashionmuseum.or.jp/>

#### 特別展「アフタヌーンティーのよそほひ—英國紅茶物語」

英国が生み出した最も有名な紅茶文化「アフタヌーンティー」を紹介する展覧会。ティーセットや銀器などの茶道具、紅茶にまつわる版画や書籍、そして華やかなドレスなど約300点を展示。紅茶の歴史からアフタヌーンティーの始まり、大衆へ広がっていく紅茶文化など、さまざまなシーンで楽しまれてきた「紅茶の世界」を、その時代の優雅なドレスとともに紹介する。

[日程] 2019年11月23日～1月19日

[会場] 神戸ファッション美術館

### ●兵庫県豊岡市

豊岡市民プラザ

〒668-0031 豊岡市大手町4-5  
Tel. 0796-24-3000 居相歩美

<http://platz-npo.com/>

#### 大駱駝艦・田村一行 市民参加 舞踏公演「リュウグウノツカイ」

大駱駝艦メンバーと公募市民が共演する豊岡発市民参加オリジナル舞踏作品。地域に伝わる伝説と、気候、風土やこの地に暮らす人々からインスピレーションを受け、大駱駝艦・田村一行が創作。市民による創造性豊かなまちづくりへの新たな一歩として、2017年より「舞踏」という身体表現に取り組み、今年で第3弾となる新作を上演する。

[日程] 1月26日

[会場] 豊岡市民プラザ

### ●兵庫県丹波篠山市

兵庫陶芸美術館

〒669-2135 丹波篠山市今田町上立杭4

Tel. 079-597-3961 萩原英子

<http://www.mcart.jp/>

#### 兵庫陶芸美術館

##### 開館15周年記念特別展

開館15周年を記念して、丹波篠山市を制作の場とする作家総勢88名の作品を紹介。丹波篠山市今田町を中心に約800年にわたってつくり続けられてきた丹波焼をはじめ、その伝統の地で生み出されるバラエティ豊かな作品が一堂に会する。楽焼絵付とお抹茶体験のワークショップなども実施され、やきもの世界を身近に感じることができる。

[日程] 1月2日～2月16日

[会場] 兵庫陶芸美術館

### 中国・四国

### ●鳥取県米子市

米子市文化財団

〒683-0822 米子市中町12  
Tel. 0859-34-2424 喜多村・来間

<http://www.yonagobunka.net/y-moa/>

#### 秋山さやか展 米子をほくく 2009-2019

米子市を拠点にアートプロジェクトを実施しているAIR475(エアヨナゴ)との共催事業。今回は10

年前にも滞在制作を行った美術作家・秋山さやかを招く。地図上に針と糸を使って自らの行動を視覚化した作品や、滞在地で収集した素材をかき集めたインスタレーションで知られる彼女が、米子で出会った人やモノ、その記憶をテーマに、約1カ月間滞在しながら作品を制作、発表する。

[日程] 1月12日～2月2日

[会場] 米子市美術館

#### ●島根県浜田市

浜田市世界こども美術館

〒697-0016 浜田市野原町859-1

Tel. 0855-23-8451 栗栖佳子

<http://www.hamada-kodomo-art.com/>

#### 第23回 浜田こどもアンデパンダン展

開館以来毎年冬に開催している、無審査・無賞で作品に優劣をつけない自由参加の展覧会。市内はもとより、海外のさまざまな国の子どもたちから毎年魅力あふれる作品が数多く寄せられる。23回目となる今年は、昨年11月に海外の児童美術専門家を招いて開催された国際交流ワークショップでつくられた作品なども展示される。

[日程] 1月18日～3月8日

[会場] 浜田市世界こども美術館

#### ●岡山県倉敷市

倉敷市文化振興財団

〒710-0052 倉敷市美和1-13-33 倉敷市文化交流会館2F

Tel. 086-434-0505 見生和彦

<https://arsk.jp/>

#### 第九回くらしきこの器この花展

陶芸や華道、茶道、邦楽が集まり、和文化の“一期一会”を提供する総合芸術展。倉敷市内で活動する陶芸家と華道家の展示では、ペアを抽選で決め、器からのインスピレーションを受けて作品が完成するため、偶然の出会いによって生まれた傑作・奇作を楽しむことができる。茶道

や邦楽も日ごとに流派や出演者が変わり、倉敷の和文化を贅沢に堪能できる。

[日程] 1月31日～2月2日

[会場] 倉敷市民会館

#### ●徳島県徳島市

徳島県立近代美術館

〒770-8070 徳島市八万町向山

文化の森総合公園内

Tel. 088-668-1088 友井伸一

<https://art.tokushima-ec.ed.jp/>

#### フリースペース チャレンジとくしま芸術祭2020

徳島発の未来のアーティストを発見・支援することを目的に2010年にスタートした芸術祭。展示部門とパフォーマンス部門があり、参加者はフリースペースで自由に表現活動を行う。実績や年齢、国籍は不問で、県内在住または県出身者の合計60組が参加予定。バラエティに富み、チャレンジ性ある作品やパフォーマンスが一堂に会する。3月には受賞者による発表会も予定。

[日程] 1月15日～26日

[会場] 徳島県立近代美術館

#### ●香川県高松市

高松市文化芸術財団

〒760-0019 高松市サンポート

2-1

Tel. 087-825-5010 大喜多菜摘

<https://www.sunport-hall.jp/>

#### 佐藤采香ユーフォニアム・リサイタル

2017年にサンポートホール高松でデビューリサイタルを行い、確かな実力で観客を魅了した高松市出身のユーフォニアム奏者・佐藤采香が出演するワンコインコンサート。ホールの開館15周年を記念し、作曲家・ピアニストの加藤昌則がこの公演のために書き下ろした新作『軒下ランプ』も聴きどころのひとつで、知られざるユーフォニアムの魅力が存分に詰まったコンサート。

[日程] 1月25日

[会場] サンポートホール高松

#### 九州・沖縄

#### ●福岡市

福岡市美術館

〒810-0051 福岡市中央区大濠

公園1-6

Tel. 092-714-6051 正路佐知子

<https://www.fukuoka-art-museum.jp/>

#### 梅田哲也 うたの起源

2000年代前半から音楽や美術、舞台芸術の分野を横断しながらインスタレーションなどを行ってきたアーティスト・梅田哲也の美術館初個展。梅田は2006年に福岡で初の個展を開催して以降、たびたび九州で作品を発表してきた。2019年に建物のリニューアルを行い、新旧の要素が混在する美術館空間の中ですべて新作のインスタレーションが展開される。

[日程] 2019年11月2日～1月13日

[会場] 福岡市美術館

#### ●長崎県時津町

とぎつカナリーホール

〒851-2104 西彼杵郡時津町野

田郷62

Tel. 095-882-0003 太田早紀

<http://canaryhall.togitsu.jp/>

#### カナリー音の博物館2019

#### 「カナリー・ウィンド・オーケストラ!」お披露目コンサート

この日初めて出会った参加者が1日だけの吹奏楽団を結成するなど、大人も子どもも音楽を存分に楽しめるイベント。プロの演奏家からセクション・パート別のレッスンを受けた後、お披露目コンサートを行う。レッスンには楽器を持っていれば演奏レベルや年齢を問わず、誰でも無料で参加できるのが特徴。今年は全体合奏に加え、希望者には単独演奏の枠も設けており、参加者それぞれの楽しみ方ができる。

[日程] 1月26日

[会場] とぎつカナリーホール

#### ●宮崎県宮崎市

宮崎県立美術館

〒880-0031 宮崎市船塚3-210

(県総合文化公園内)

Tel. 0985-20-3792 清水佳秀

<http://www.miyazaki-archive.jp/bijutsu/box/challenge.html>

#### 令和元年度チャレンジギャラリー

宮崎県の若手アーティストの活動支援を目的に、作品発表の場として展示室を一定期間提供するプログラム。第10回の今年度も3名の作家が各5～6日間個展を開催。県美術海外留学賞受賞者で楯材による彫刻を手がける田村将太や、県内外の書道展に出品する書家・市原佳奈(明華)、独学でアクリル画の自画像を制作する大隣美香が独自の世界観を表現する。

[日程] 1月8日～26日

[会場] 宮崎県立美術館

#### ●鹿児島県鹿児島市

鹿児島市立美術館

〒892-0853 鹿児島市城山町

4-36

Tel. 099-224-3400 稲葉麻里子

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/artmuseum/>

#### 小企画展「ガラスに魅せられてー薩摩切子から絵画まで」

幕末に鹿児島で生み出された薩摩切子をはじめとするさまざまなガラス器などを紹介する展覧会。19世紀中頃の貴重な薩摩切子や後世に制作された作品が展示され、その複雑なカット文様と色ガラスが織りなす美しさを鑑賞することができる。また、ガラスを素材のひとつとして用いたり、ガラスをモチーフに描いた絵画も展示され、ガラスをめぐるさまざまな表現を楽しめる。

[日程] 2019年12月24日～2月9日

[会場] 鹿児島市立美術館

## ▼今月の情報(アーツセンター編)

新たにオープンした公立のアーツセンターを紹介します

### アーツセンター情報

#### ●東京都青梅市

##### ネッツたまぐーセンター (青梅市文化交流センター)

〒198-0081 青梅市上町374  
Tel. 0428-20-7150  
<https://www.city.ome.tokyo.jp/site/ome-iky/3161.html/>

◎2019年4月13日オープン



老朽化した公共施設の再編モデルのひとつとして、用途の類似した4つの交流施設を複合化し、青梅市民会館跡地に開館。生涯学習機能のほか、簡易出張所業務を担う青梅市民センターと子育て支援機能を集約し、市民が日常的に使える交流拠点を目指す。

地上4階・地下1階の建物には、多様な用途に対応できる平土間形式の多目的ホールや防音設備を整えた文化活動室、会議室、和室、屋上テラスなど機能や広さの異なる施設が揃うほか、展示交流スペースと呼ばれるフリースペースが各階に設けられ、幅広いジャンルの文化活動に対応できる。

これらの施設を、全世代の市民が集う「あそびば」として自由な発想で利用してもらうため、「あそびばコーディネーター」と呼ばれるスタッフが利用者の意見を取り込みながら、講座の企画や施設の雰囲気づくりを行い、市民に寄り添った運営を行っている。[オープニング事業]「おいでよ! みんなのあそびばへ」

[施設概要]多目的ホール(271席)、文化活動室、バンドルーム、アートルームほか

[設置・管理・運営者]青梅市

[設計者](株)相和技術研究所

#### ●堺市

##### フェニーチェ堺 (堺市民芸術文化ホール)

〒590-0061 堺市堺区翁橋町2-1-1  
<https://www.fenice-sacay.jp/>

◎2019年10月1日グランドオープン



老朽化した堺市民会館の後継施設として建設。芸術文化の創造・交流・発信の拠点施設であり、同地域における中枢文化施設としての役割を担う。

愛称のフェニーチェ(イタリア語で「不死鳥」の意)は、堺市が大坂夏の陣や第二次世界大戦などによって数度焦土と化したことが、不死鳥のごとく復活したこと、また、堺が国際貿易都市としてイタリア・ベニスのごとく称されていたことから、公募により決定。南大阪最大となる2,000席の大ホールは、音楽系を中心にオペラや演劇、集会などにも対応可能な多目的ホール。文化交流室はA・B・Cの3室一体利用が可能で、文化講座や会議のほか、展示室としても利用可能。

今後は鑑賞事業や創造・発表事業など優れた舞台芸術や多彩な公演を実施していく予定。

[オープニング事業]クラシック、ダンス、文楽、落語など約60公演  
[施設概要]大ホール(2,000席)、小ホール(312席)、大・小スタジオ、文化交流室、多目的室、交流・創作ガレリアほか

[設置者]堺市

[管理・運営者]公益財団法人堺市文化振興財団

[設計者]柳澤孝彦+TAK建築研究所・MORIデザイン建築事務所設計共同体

#### ●大阪府東大阪市

##### 東大阪市文化創造館

〒577-0034 東大阪市御厨南2-3-4  
<https://higashiosaka.hall-info.jp/>

◎2019年9月1日オープン



施設の老朽化に伴い2015年6月に閉館した市民会館と、2014年12月に閉館した旧文化会館の機能を集約、民間企業の力や専門性を活かしたものとするためPFI事業により施設を整備。市民が芸術を鑑賞するだけの施設ではなく、市民が文化芸術と出会い・生み出し・育てられる文化芸術の創造発信拠点として開館した。

地上5階・地下1階建ての施設には、音響品質に優れている1500席の大ホールや300席の小ホールのほか、音楽、演劇・ダンス、会議・研修、アートなどの目的で一般利用できる創造支援系諸室を20室設ける。1階には、市民がお薦めの本を持ち寄り本棚を埋めていく「まちライブラリー」を設置、本を読みながら飲食を楽しめるようカフェを併設するなど、市民の学習・交流・憩いの場を提供する。

[オープニング事業]東大阪市文化創造館開館記念 関西フィルハーモニー管弦楽団特別演奏会  
[施設概要]大ホール(1,500席)、小ホール(300席)、多目的室、音楽スタジオ、創造支援室、和室、キッズルーム、街角広場、まちライブラリー、カフェほか

[設置者]東大阪市

[管理・運営者]PFI東大阪文化創造館(株)

[設計者](株)佐藤総合計画

#### ●データの見方

情報は所在地の北から順に掲載しています。●で表示してあるのはアーツセンターの所在地です。以下名称、住所、電話番号、公式サイトURLを記載しています。また、基礎データとして、設置者、運営者、ホール席数など施設概要を紹介しています。

#### ●情報提供のお願い

地域創造では、地域の芸術環境づくりを積極的に推進するアーツセンター(ホール、美術館などの施設のほか、ソフトの運営主体も含みます)の情報を収集しています。特に、新規の計画やオープンなどのトピックスについては、この情報欄に掲載していく予定です。このページに掲載を希望する情報がございましたら、情報担当までご連絡ください。

#### ●情報提供先

地域創造レター担当  
Fax. 03-5573-4060  
Tel. 03-5573-4183  
letter@jafra.or.jp

## ▼— 今月のレポート

財団の支援事業や地域の創造活動に参考になる催しを取り上げてレポートします

千葉県松戸市

### 「科学と芸術の丘2019」



上: 展示の様子 / 下: 講演する若宮正子さん  
©Hajime Kato

#### ● 科学と芸術の丘2019

[会期] 2019年11月16日、17日

[会場] 戸定邸、松雲亭、戸定が丘歴史公園

[出展作家] アルスエレクトロニカ、東京大学生産技術研究所 山中俊治研究室、Space Art Project、田所淳、市原えつこほか

[主催] 松戸市

[運営] OI(清水陽子(総合ディレクター)、omusubi不動産(プロジェクト・マネジメント))

\*1 東京の上野駅から千葉県松戸、茨城県取手・水戸、福島県いわきから太平洋岸を北上して宮城県仙台を結ぶ363.5kmに及ぶ路線。上野東京ラインが開通し、東京駅まで乗り入れが可能になった。

\*2 パチンコホール楽園(運営:株式会社浜友商事)の協力により、かつてのホテルを活用して2013年から開始したアーティスト・イン・レジデンス施設。アーティスト、キュレーター、リサーチャーを受け入れる短期滞在型の「ショートステイ・プログラム」、公募によって選出されたアーティストの渡航・滞在・作品制作を3カ月間フルサポートする「ロングステイ・プログラム」、アーティストと地域を繋ぎ、多様な学びと交流を促す「ラン・プログラム」を市と文化庁の支援により展開。

\*3 自立的な地域活性をデザインするまちづくりを行う株式会社。2011年より徒歩圏エリアを独自に設定し、まちづくりプロジェクト「MAD City」を展開。

松戸市は人口約49万人。上野から延びるJR常磐線<sup>(\*1)</sup>の駅で数えて5番目(松戸駅)、上野東京ラインの開通により乗り換えなしで東京まで30分余りという近さのベッドタウンだ。1999年に同じ常磐線の取手に東京藝術大学先端芸術表現科が開校し、さまざまな地域アートプロジェクトを実践するようになったのを契機に、松戸に定住するアーティストやクリエイターも増え、そうしたアート・コミュニティによるまちづくりの活動が活発化し、注目を集めている。

11月17日、その取り組みのひとつであり、昨年、松戸市が地元のアート・コミュニティと共に立ち上げた国際フェスティバル「科学と芸術の丘2019」取材した。

近年、最先端の科学技術を使用したメディアアートやバイオアートが話題となっているが、このフェスティバルはそうした作品のあり方にスポットを当てたものだ。会場となったのは明治時代の徳川家の住まいが庭園の中にほぼそのままの形で残っている国指定重要文化財「戸定邸」(水戸藩最後の藩主・徳川昭武の私邸)。江戸と水戸を結ぶ水戸街道の宿場町として栄えた歴史をもつ松戸市の歴史を伺えるこの建物に、世界的なメディアアートの研究機関「アルスエレクトロニカ」による展示や、仮想通貨のお賽銭で光と音のパフォーマンスをする未来のお神輿(市原えつこ・渡井大己「仮想通貨奉納祭」)など、先進的なアート作品が並んでいた。

小学校でプログラミングも習うデジタル・ネイティブ世代の子どもたちは電子音楽のワークショップを楽しみ、世界最高齢84歳のアプリ開発者・若宮正子さんの「人生100年時代の生き方とイノベーション」と題したトークには多くの高齢者が参加していた。科学と芸術がテーマと聞いた時の難しい作品が並ぶのかなという予想は、多世代それぞれが最新のアートに親しむ光景に覆された。

このフェスティバルの総合ディレクターを務めたのがアーティストでバイオテクノロジー研究者の清水陽子さんだ。ニューヨーク・ブルックリンを拠点とする彼女が日本での活動拠点を探し

ていた時に会ったのが、松戸で古い建物のリノベーションをしてクリエイターに貸し出すなど一風変わった不動産を営むomusubi不動産の殿塚建吾さんだった。この二人からフェスティバル企画の提案を受けた松戸市は、実現に向けて動き出す。

松戸市は、2005年から近隣自治体と共にアートで常磐線沿線のイメージアップを図る「JOBANアートライン」に参加し、若手アーティストを招聘した街中プロジェクトなどを展開。これをきっかけに、日常の生活の営みそのものを文化や芸術ととらえる「暮らしの芸術都市」をコンセプトにしたまちづくりに着手する。転機となったのが、12年にその事業主体として松戸駅周辺14町会が参加した「松戸まちづくり会議」が組織されたことだ。13年には駅前のホテルを改装した民間のアーティスト・イン・レジデンス施設「PARADISE AIR」<sup>(\*2)</sup>も始動する。

松戸市文化観光国際課課長の白井宏之さんは、「2011年から、民間の『まちづくりクリエイティブ』<sup>(\*3)</sup>が松戸駅周辺でアーティストやクリエイターとまちづくりを行うプロジェクトを始めていました。彼らに松戸まちづくり会議や市のアーティスト・イン・レジデンス事業の事務局を委託しました。こうした中からomusubi不動産や、現在のPARADISE AIRの事務局を担う(一社)PAIRが派生してきました。約10年を経て文化芸術に関するプレイヤーが増えてきたと感じています。今回のフェスティバルもomusubi不動産の店子であるクリエイターたちが自主的にサポートしてくれています。松戸には宿場町時代に宿代の代わりに作品を残す『一宿一芸』という文化がありました。そういうトランジットポイント、交差点になればと思っています」と話す。

行政とクリエイター・アーティストは、時に水と油にもなりうる。しかし、今回のフェスティバルは住民であるアーティストや新しい業態の地元起業家の意欲を行政がサポートするというとてもいい関係が見て取れた。東京の隣町という立地を最大限に活かした「暮らしの芸術都市」という新しいコンセプトは着実に実を結んでいると感じた。(三田真由美)